

吾妻山の火山活動解説資料（平成 23 年 1 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高い状態が続いています。火山性地震はやや多い状況で経過しました。地殻変動に特段の変化はなく、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。引き続き、火口内では火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～200m で経過し、噴気活動はやや高い状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は、やや多い状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。



図 1 吾妻山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 2 月分）は平成 23 年 3 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。



図2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状態（1月26日08時18分頃）
 福島市上野寺（大穴火口から東北東約14km）に設置してある遠望カメラによる。
 大穴火口からの白色噴気の高さは200m。

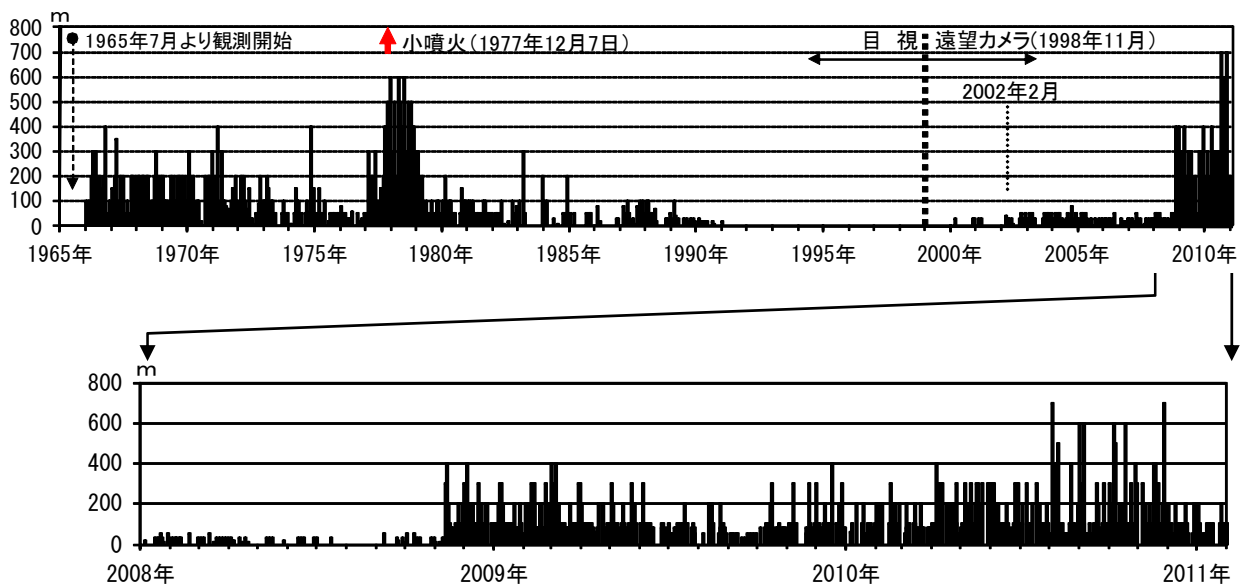


図3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2011年1月）
 下段：日別最大噴気高（2008年1月～2011年1月）
 1998年以前は福島地方气象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。
 1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。
 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。
 2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
 2010年8月3日、11月27日に一時的に700m、8月31日、9月5日、10月6日、10月18日に一時的に600mを観測しました。

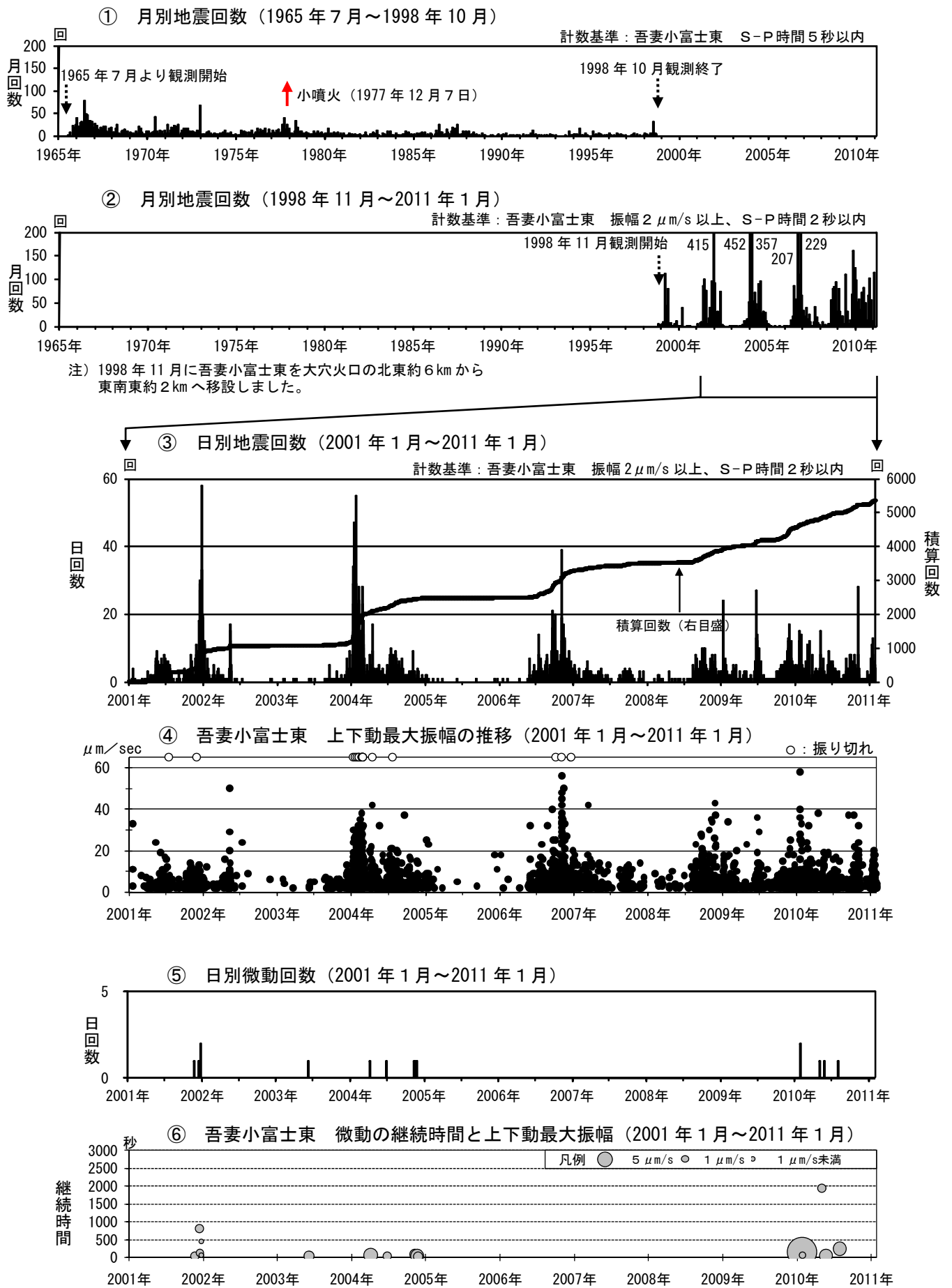


図 4 吾妻山 地震活動経過図

機器障害のため、2010 年 10 月 14～15 日の日別地震回数は欠測です。

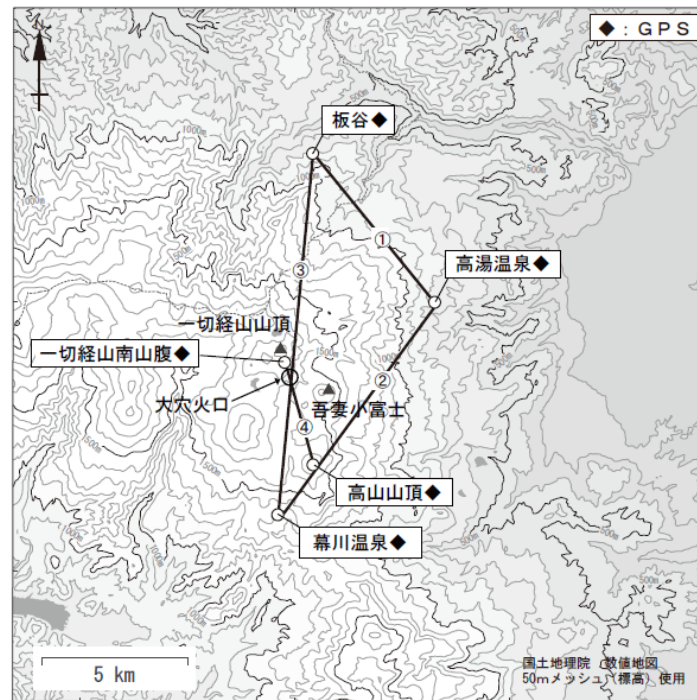


図 5 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図 6 の①～④に対応しています。

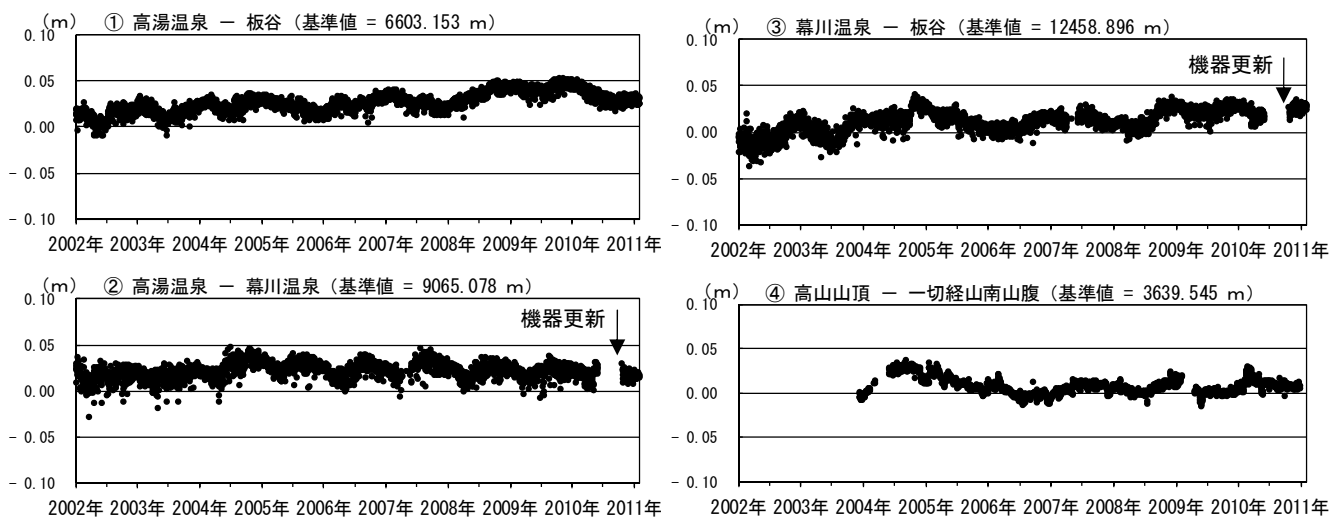


図 6 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2011 年 1 月）

①～④は図 5 の GPS 基線①～④に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。